



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場取引所 東大

上場会社名 ニチコン株式会社

コード番号 6996 URL <http://www.nichicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員社長 (氏名) 荒木 幸彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員常務 IR室長 (氏名) 近野 斉

定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日

配当支払開始予定日

TEL 075-231-8461

平成24年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成24年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 107,658 | 1.6 | 2,134 | △57.8 | 3,192 | △18.2 | 1,157 | △56.5 |
| 23年3月期 | 105,914 | 25.4 | 5,061 | — | 3,900 | — | 2,660 | — |

(注) 包括利益 24年3月期 1,202百万円 (248.1%) 23年3月期 345百万円 (—%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 24年3月期 | 16.20 | — | 1.2 | 2.4 | 2.0 |
| 23年3月期 | 37.24 | — | 2.8 | 3.0 | 4.8 |

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 △49百万円 23年3月期 △32百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期 | 139,150 | 94,084 | 66.7 | 1,299.69 |
| 23年3月期 | 130,789 | 94,159 | 71.1 | 1,301.49 |

(参考) 自己資本 24年3月期 92,850百万円 23年3月期 92,979百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 24年3月期 | 7,917 | △11,595 | 6,363 | 16,804 |
| 23年3月期 | 7,041 | △5,080 | △1,716 | 14,143 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 23年3月期 | — | 6.50 | — | 7.50 | 14.00 | 1,000 | 37.6 | 1.1 |
| 24年3月期 | — | 7.50 | — | 7.50 | 15.00 | 1,071 | 92.6 | 1.2 |
| 25年3月期(予想) | — | 7.50 | — | 7.50 | 15.00 | | 56.4 | |

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 51,000 | △13.4 | 700 | △79.5 | 700 | △73.2 | 150 | △85.2 | 2.10 |
| 通期 | 115,000 | 6.8 | 2,800 | 31.2 | 3,700 | 15.9 | 1,900 | 64.2 | 26.60 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

新規 1社 (社名) ニチコン エレクトロニクス(宿遷)カンパニー リミテッド、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、P.15「(6)連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 1.連結の範囲に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| 24年3月期 | 78,000,000 株 | 23年3月期 | 78,000,000 株 |
| 24年3月期 | 6,559,463 株 | 23年3月期 | 6,558,973 株 |
| 24年3月期 | 71,440,731 株 | 23年3月期 | 71,442,089 株 |

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|--------|---|-------|-------|-------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 76,781 | 0.6 | △2,350 | — | 2,213 | 833.3 | 1,572 | 2,374.8 |
| 23年3月期 | 76,313 | 15.4 | △452 | — | 237 | — | 63 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | |
|--------|------------|-----|-------------------|-----|
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | 22.01 | — | — | — |
| 23年3月期 | 0.89 | — | — | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 24年3月期 | 115,421 | 74,057 | 74,057 | 74,057 | 64.2 | 1,036.63 | 1,036.63 | |
| 23年3月期 | 108,344 | 73,553 | 73,553 | 73,553 | 67.8 | 1,028.33 | 1,028.33 | |

(参考) 自己資本 24年3月期 74,057百万円 23年3月期 73,465百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績(1)経営成績に関する分析(次期の見通し)」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 4 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 5 |
| 2. 企業集団の状況 | 5 |
| 3. 経営方針 | 7 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 7 |
| (2) 中長期的な経営戦略と対処すべき課題 | 7 |
| 4. 連結財務諸表 | 8 |
| (1) 連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 15 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 15 |
| (7) 追加情報 | 17 |
| (8) 連結財務諸表に関する注記事項 | 17 |
| (連結貸借対照表関係) | 17 |
| (連結損益計算書関係) | 18 |
| (連結株主資本等変動計算書関係) | 18 |
| (連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 20 |
| (セグメント情報等) | 20 |
| (1株当たり情報) | 21 |
| (重要な後発事象) | 21 |
| 5. 個別財務諸表 | 22 |
| (1) 貸借対照表 | 22 |
| (2) 損益計算書 | 24 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 25 |
| 6. その他 | 28 |
| 役員の異動 | 28 |

〔定性的情報・財務諸表等〕

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による停滞から緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、長期化する円高や海外景気下振れなどにより厳しい状況が続きました。海外においては、欧州の財政・金融危機に端を発した経済環境の悪化および中国経済成長の鈍化等により景気の減速感が強まりました。

当社グループの関連市場におきましては、上期は新興国における経済成長に伴う需要拡大もみられましたが、下期以降は欧州の財政問題やタイの洪水被害の影響も加わり、デジタル家電機器やパソコン等に在庫調整の動きが見られるなど電子部品需要は総じて低調に推移しました。

このような状況のなかで、当社は中期経営計画の経営ビジョンに沿って、コンデンサ、回路、インバータ等のコア技術を核としてデジタル&パワーエレクトロニクス分野に注力するとともに、高い成長力が期待できるエコ、EV/HV（電気自動車／ハイブリッド車）、インバータ関連事業を経営の新たな柱とするため、環境関連のパワーエレクトロニクスビジネスを統括する「NECST (Nichicon Energy Control System Technology) プロジェクト」を推進し、需要が拡大しているEV用車載充電器や太陽光発電・蓄電機能付EV用急速充電器をはじめとする環境、エネルギーおよび医療分野向け製品等について事業化を進めました。

また、新興国市場における販売拡大のために、海外での生産体制の強化と販売網の拡充を図るとともに、原価低減活動や品質向上に継続的な取組みを行いました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は107,658百万円と前期比1.6%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は2,134百万円と前年比57.8%の減益、経常利益は3,192百万円と前年比18.2%の減益、当期純利益は1,157百万円と前期比56.5%の減益となりました。

製品区分別売上高につきましては、電子機器用は、上期においては好調に推移したものの、第3四半期以降情報通信機器およびインバータ機器向けなどの需要が伸び悩んだことなどにより76,972百万円と前期比1.5%の減収となりました。

電力・機器用及び応用機器は、民間設備投資の回復に伴い応用機器の需要が比較的堅調に推移したこと、また、ハイブリッド車用フィルムコンデンサモジュールの需要回復に伴う機器用の売上増加などにより12,001百万円と前期比11.4%の増収となりました。

回路製品は、機能モジュールのうちEV用車載充電器について電気自動車用新製品の量産化に加え、スイッチング電源において事務機器向けの需要が比較的堅調に推移したことなどにより18,197百万円と前期比11.3%の増収となりました。

海外売上高につきましては、欧米市場において自動車関連機器向けの需要が増加しましたが、アジア市場においては下期以降情報通信機器およびインバータ機器向けの受注が減少したことなどにより前期比5.5%の減収となりました。一方、国内市場については環境・エネルギー関連製品など全般的な需要の増加により前期比11.5%の増収となりました。これらの結果、連結売上高に占める海外売上高の割合は、前期比4.1ポイント低下し53.9%となりました。

設備投資につきましては、企業競争力の更なる強化と販売競争の激化、グローバル体制の構築に対処するための増産投資、技術開発投資を中心に15,393百万円を実施しました。

・所在地別業績

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

| | 日本 (百万円) | 米国 (百万円) | アジア (百万円) | 欧州他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 47,188 | 6,028 | 46,871 | 5,824 | 105,914 | — | 105,914 |
| (2)所在地間の内部売上高又は振替高 | 25,323 | 1 | 3,155 | 2 | 28,483 | (28,483) | — |
| 計 | 72,512 | 6,030 | 50,027 | 5,827 | 134,397 | (28,483) | 105,914 |
| 営業利益 | 1,407 | 416 | 2,774 | 436 | 5,034 | 27 | 5,061 |

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

| | 日本 (百万円) | 米国 (百万円) | アジア (百万円) | 欧州他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 51,807 | 6,217 | 42,946 | 6,687 | 107,658 | — | 107,658 |
| (2)所在地間の内部売上高又は振替高 | 20,035 | 0 | 3,629 | 0 | 23,666 | (23,666) | — |
| 計 | 71,842 | 6,217 | 46,576 | 6,688 | 131,324 | (23,666) | 107,658 |
| 営業利益又は営業損失 | (1,987) | 593 | 2,148 | 1,085 | 1,839 | 294 | 2,134 |

・海外売上高

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

| | 米州 | アジア | 欧州他 | 計 |
|--------------------------|-------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高（百万円） | 6,037 | 49,526 | 5,882 | 61,446 |
| II 連結売上高（百万円） | | | | 105,914 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 5.7 | 46.8 | 5.5 | 58.0 |

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

| | 米州 | アジア | 欧州他 | 計 |
|--------------------------|-------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高（百万円） | 6,223 | 45,116 | 6,723 | 58,063 |
| II 連結売上高（百万円） | | | | 107,658 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 5.8 | 41.9 | 6.2 | 53.9 |

・販売実績

| 製品区分 | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | | 増 減 | |
|--------------|--|------------|--|------------|--------------|------------|
| | 金 額 (百万円) | 構成比 (%) | 金 額 (百万円) | 構成比 (%) | 金 額 (百万円) | 増減比 (%) |
| 電子機器用 | 78,122 | 73.8 | 76,972 | 71.5 | △1,149 | △1.5 |
| 電力・機器用及び応用機器 | 10,772 | 10.2 | 12,001 | 11.1 | 1,228 | 11.4 |
| 回路製品 | 16,347 | 15.4 | 18,197 | 16.9 | 1,850 | 11.3 |
| その他 | 671 | 0.6 | 486 | 0.5 | △184 | △27.5 |
| 合 計 | 105,914 | 100.0 | 107,658 | 100.0 | 1,744 | 1.6 |

(次期の見通し)

次期の経済環境の見通しは、欧州の財政・金融危機に端を発した海外景況の悪化、為替相場の動向など先行き不透明な要因はあるものの、国内経済では東日本大震災からの復興需要が期待され、海外では中国・インドを中心とするアジア地域において景気回復が見込まれることなどから、全体としては緩やかな景気回復が続くものと予想しています。

このような状況下、当社グループは中期経営計画の経営ビジョンに沿って、デジタル&パワーエレクトロニクス分野への注力、環境・エネルギーおよび車載分野向け新製品の市場投入に加え、中国・インドをはじめとする新興国市場における販売拡大に積極的に取り組んでまいります。

業績予想については、売上高1,150億円、営業利益28億円、経常利益37億円、当期純利益19億円を見込んでおります。なお、為替レートは1米ドル80円を前提としております。

(2) 財政状態に関する分析

当期末の総資産は、前期末に比べ8,360百万円増加し139,150百万円となりました。

主な増加の内容は、流動資産が前期末に比べ6,720百万円増加したことに加え、有形固定資産について前期末に比べ6,090百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ74百万円減少し94,084百万円となりました。また、自己資本比率は66.7%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、7,917百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の増加額が1,615百万円、たな卸資産の増加額が1,097百万円となりましたが、税金等調整前当期純利益が2,693百万円、減価償却費が9,151百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、11,595百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が13,424百万円、有価証券・投資有価証券の取得による支出が2,531百万円となりましたが、一方で、有価証券・投資有価証券の売却及び償還による収入が4,738百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、6,363百万円の収入となりました。これは主に、配当金の支払額が1,071百万円となりましたが、短期借入金の純増減額が1,700百万円の増加、長期借入れによる収入が4,000百万円となったことなどによるものです。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物の残高は16,804百万円となり、前期末に比べ2,660百万円増加しました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは次のとおりであります。

| | 平成20年 3月期 | 平成21年 3月期 | 平成22年 3月期 | 平成23年 3月期 | 平成24年 3月期 |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 自己資本比率 (%) | 77.2 | 78.3 | 73.1 | 71.1 | 66.7 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 36.3 | 42.2 | 64.2 | 64.2 | 51.2 |
| キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (%) | 4.8 | 37.0 | 103.6 | 59.9 | 147.5 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 957.8 | 803.6 | 69.3 | 170.7 | 140.5 |

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式をベースに計算しております。

4. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と認識し、企業価値の拡大と企業体質の強化を図り、利益を増加させることにより配当の安定的増加に努めることを基本としております。

内部留保につきましては、将来の成長や発展のために必要な研究開発ならびに設備投資に投入し、企業価値の向上を図るとともに利益の増大に努めていく所存であります。

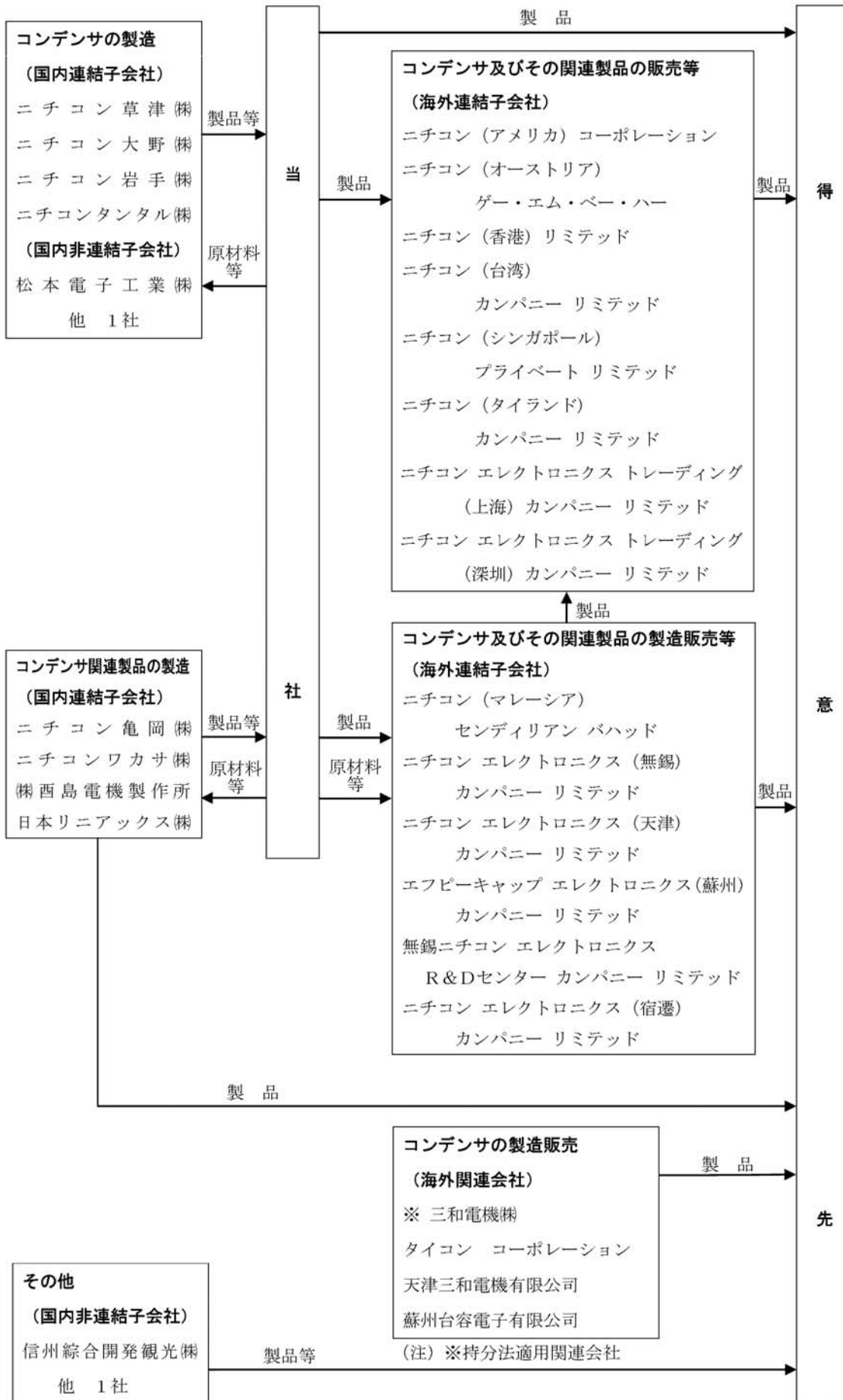
当期（平成24年3月期）の1株当たり期末配当金につきましては、既に実施済の中間配当金と同額の1株当たり7円50銭とし、年間配当金を15円とさせていただく予定です。

なお、次期（平成25年3月期）の1株当たり配当金につきましては、連結業績見通しおよび当社配当方針を踏まえ、1株当たり15円の年間配当とさせていただく予定です。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（ニチコン株式会社）、子会社26社および関連会社4社により構成されており、各種コンデンサ、その関連製品の製造販売および変圧器の製造販売等の事業活動を行っております。

(事業系統図)



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、あらゆるエレクトロニクス機器に不可欠な電子機器用コンデンサ、スイッチング電源・機能モジュールおよびEV用車載充電器の回路製品、電力・機器用コンデンサおよびコンデンサ応用関連機器などを生産・販売するコンデンサメーカーとして事業展開をしておりますが、これらの全ての部門において、「オンリーワン、ナンバーワン」を目指し、さらなる伸長が期待されるデジタル家電機器、自動車・車両関連機器、エコ関連機器、情報通信機器の各重点分野に生産・販売・技術・サービスに関する経営資源を集中投下いたします。

併せて、当社グループの継続的な成長と収益確保を図るため、資本効率を高め筋肉質で強靱な企業基盤を構築し、企業価値の向上を図ってまいります。また、人と地球環境に優しい企業を目指すとの理念のもと、顧客から信頼されるグローバルウィナーとして事業活動を推進いたします。

(2) 中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループを取り巻く経営環境は、欧州の財政・金融危機を発端とした海外景況の悪化懸念、円高の定着や価格競争の激化など依然として予断を許さない状況が続いています。

このような状況下において当社グループは、中期経営計画の経営ビジョンに沿って、以下の施策を実行してまいります。

① デジタル&パワーエレクトロニクスへ

コンデンサ、回路、インバータのコア技術を核に、これまでのデジタル家電、情報通信の分野に加え、成長市場である環境、エネルギー、自動車、鉄道・車両、医療の各分野に注力します。

② 環境／車載の新事業をコンデンサと並ぶ経営の柱に

環境関連パワーエレクトロニクスシステムビジネスを統括する「NECST (Nichicon Energy Control System Technology) プロジェクト」を推進し、高い成長力が期待できるエコ、EV/HV、インバータ関連事業を当社の企業発展の新たな柱としていきます。

③ 新興国市場における販売拡大

中国・インドをはじめとする新興国市場での販売拡大とニチコンブランドのさらなる浸透を図るため、販売体制の拡充、生産体制の強化および原価低減の徹底に積極的な取り組みを行います。

また、これらの成長戦略に加え、コンプライアンスの浸透徹底により、業務の適正を確保するための体制ならびに財務報告の信頼性を確保するための体制を充実させることにより、一層の内部統制の整備・運用を進め、企業価値の向上を目指してまいります。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,143 | 17,214 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,465 | 29,794 |
| 有価証券 | 3,907 | 4,814 |
| 商品及び製品 | 7,389 | 8,193 |
| 仕掛品 | 5,276 | 5,726 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,937 | 4,673 |
| 繰延税金資産 | 285 | 612 |
| その他 | 994 | 1,086 |
| 貸倒引当金 | △85 | △80 |
| 流動資産合計 | 65,315 | 72,035 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 14,174 | 16,596 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 14,348 | 14,685 |
| 土地 | 3,990 | 4,001 |
| リース資産(純額) | — | 1,735 |
| 建設仮勘定 | 898 | 2,353 |
| その他(純額) | 1,264 | 1,396 |
| 有形固定資産合計 | ※2, ※3 34,677 | ※2, ※3 40,768 |
| 無形固定資産 | 606 | 729 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | ※1 27,727 | ※1 23,454 |
| 長期貸付金 | 1,844 | 1,716 |
| 繰延税金資産 | 330 | 369 |
| その他 | 837 | 626 |
| 貸倒引当金 | △549 | △549 |
| 投資その他の資産合計 | 30,190 | 25,617 |
| 固定資産合計 | 65,474 | 67,114 |
| 資産合計 | 130,789 | 139,150 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,401 | 16,952 |
| 短期借入金 | 3,800 | 5,500 |
| 未払法人税等 | 1,079 | 1,056 |
| 賞与引当金 | 910 | 1,069 |
| 設備関係支払手形 | 693 | 1,869 |
| その他 | 7,075 | 7,505 |
| 流動負債合計 | 30,960 | 33,952 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 4,000 |
| リース債務 | 17 | 1,751 |
| 繰延税金負債 | 1,313 | 1,133 |
| 退職給付引当金 | 3,677 | 3,446 |
| その他 | 661 | 780 |
| 固定負債合計 | 5,670 | 11,113 |
| 負債合計 | 36,630 | 45,066 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,286 | 14,286 |
| 資本剰余金 | 17,069 | 17,069 |
| 利益剰余金 | 72,744 | 72,830 |
| 自己株式 | △8,116 | △8,116 |
| 株主資本合計 | 95,983 | 96,068 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,837 | 2,002 |
| 為替換算調整勘定 | △4,841 | △5,220 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,003 | △3,218 |
| 新株予約権 | 88 | — |
| 少数株主持分 | 1,090 | 1,233 |
| 純資産合計 | 94,159 | 94,084 |
| 負債純資産合計 | 130,789 | 139,150 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) | |
|----------------|---|---------|---|---------|
| | | | | |
| 売上高 | | 105,914 | | 107,658 |
| 売上原価 | ※1, ※3 | 89,353 | ※1, ※3 | 94,032 |
| 売上総利益 | | 16,560 | | 13,626 |
| 販売費及び一般管理費 | ※2, ※3 | 11,498 | ※2, ※3 | 11,491 |
| 営業利益 | | 5,061 | | 2,134 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | | 203 | | 197 |
| 受取配当金 | | 268 | | 318 |
| 為替差益 | | — | | 319 |
| その他 | | 177 | | 787 |
| 営業外収益合計 | | 649 | | 1,622 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | | 41 | | 56 |
| 持分法による投資損失 | | 32 | | 49 |
| 為替差損 | | 1,493 | | — |
| その他 | | 243 | | 459 |
| 営業外費用合計 | | 1,811 | | 565 |
| 経常利益 | | 3,900 | | 3,192 |
| 特別利益 | | | | |
| 投資有価証券売却益 | | — | | 19 |
| 貸倒引当金戻入額 | | 35 | | — |
| 新株予約権戻入益 | | 8 | | 88 |
| その他 | | 31 | | 5 |
| 特別利益合計 | | 75 | | 113 |
| 特別損失 | | | | |
| 固定資産処分損 | | 49 | | 114 |
| 投資有価証券評価損 | | — | | 423 |
| その他 | | — | | 74 |
| 特別損失合計 | | 49 | | 611 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 3,925 | | 2,693 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 1,407 | | 1,642 |
| 法人税等調整額 | | △386 | | △368 |
| 法人税等合計 | | 1,020 | | 1,274 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | | 2,905 | | 1,418 |
| 少数株主利益 | | 244 | | 260 |
| 当期純利益 | | 2,660 | | 1,157 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,905 | 1,418 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,136 | 91 |
| 為替換算調整勘定 | △1,441 | △310 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 18 | 2 |
| その他の包括利益合計 | △2,559 | △216 |
| 包括利益 | 345 | 1,202 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 107 | 942 |
| 少数株主に係る包括利益 | 237 | 259 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | |
|------------------|--|--------|--|--------|
| | 株主資本 | | | |
| 資本金 | | | | |
| 当期首残高 | | 14,286 | | 14,286 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 14,286 | | 14,286 |
| 資本剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | | 17,069 | | 17,069 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 17,069 | | 17,069 |
| 利益剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | | 70,772 | | 72,744 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | 240 | | — |
| 遡及処理後当期首残高 | | 71,012 | | 72,744 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | △928 | | △1,071 |
| 当期純利益 | | 2,660 | | 1,157 |
| 当期変動額合計 | | 1,731 | | 85 |
| 当期末残高 | | 72,744 | | 72,830 |
| 自己株式 | | | | |
| 当期首残高 | | △8,114 | | △8,116 |
| 当期変動額 | | | | |
| 自己株式の取得 | | △1 | | △0 |
| 当期変動額合計 | | △1 | | △0 |
| 当期末残高 | | △8,116 | | △8,116 |
| 株主資本合計 | | | | |
| 当期首残高 | | 94,013 | | 95,983 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | 240 | | — |
| 遡及処理後当期首残高 | | 94,254 | | 95,983 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | △928 | | △1,071 |
| 当期純利益 | | 2,660 | | 1,157 |
| 自己株式の取得 | | △1 | | △0 |
| 当期変動額合計 | | 1,729 | | 85 |
| 当期末残高 | | 95,983 | | 96,068 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 3,152 | 1,837 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △1,315 | 164 |
| 当期変動額合計 | △1,315 | 164 |
| 当期末残高 | 1,837 | 2,002 |
| 為替換算調整勘定 | | |
| 当期首残高 | △3,425 | △4,841 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △1,415 | △379 |
| 当期変動額合計 | △1,415 | △379 |
| 当期末残高 | △4,841 | △5,220 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △272 | △3,003 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △2,730 | △214 |
| 当期変動額合計 | △2,730 | △214 |
| 当期末残高 | △3,003 | △3,218 |
| 新株予約権 | | |
| 当期首残高 | 97 | 88 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △8 | △88 |
| 当期変動額合計 | △8 | △88 |
| 当期末残高 | 88 | — |
| 少数株主持分 | | |
| 当期首残高 | 929 | 1,090 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 161 | 142 |
| 当期変動額合計 | 161 | 142 |
| 当期末残高 | 1,090 | 1,233 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 94,767 | 94,159 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | 240 | — |
| 遡及処理後当期首残高 | 95,008 | 94,159 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △928 | △1,071 |
| 当期純利益 | 2,660 | 1,157 |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △2,578 | △160 |
| 当期変動額合計 | △849 | △74 |
| 当期末残高 | 94,159 | 94,084 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,925 | 2,693 |
| 減価償却費 | 7,656 | 9,151 |
| 有形固定資産処分損益 (△は益) | 49 | 114 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 423 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △122 | △231 |
| 受取利息及び受取配当金 | △472 | △515 |
| 支払利息 | 41 | 56 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △3,662 | △1,615 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3,612 | △1,097 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,760 | 4 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 1,059 | 99 |
| その他 | 83 | 4 |
| 小計 | 7,706 | 9,087 |
| 利息及び配当金の受取額 | 472 | 515 |
| 利息の支払額 | △41 | △56 |
| 法人税等の支払額 | △1,150 | △1,666 |
| 法人税等の還付額 | 54 | 36 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,041 | 7,917 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △1,309 | △1,701 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 7,303 | 4,602 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,500 | △13,424 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,765 | △830 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 136 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 295 | 131 |
| その他 | △102 | △510 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,080 | △11,595 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △700 | 1,700 |
| 長期借入れによる収入 | — | 4,000 |
| 配当金の支払額 | △928 | △1,071 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △76 | △116 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | — | 1,935 |
| その他 | △10 | △84 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,716 | 6,363 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △828 | △23 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △584 | 2,660 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,727 | 14,143 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | ※ 14,143 | ※ 16,804 |

- (5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社の数 22社

主要な連結子会社

ニチコン草津株式会社、ニチコン大野株式会社、ニチコン(アメリカ)コーポレーション、他

なお、ニチコン福井株式会社は、ニチコン大野株式会社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しています。また、ニチコン エレクトロニクス(宿遷)カンパニー リミテッドは重要性が増したため連結の範囲に含めております。

- (2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社

松本電子工業株式会社、他3社

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ重要性がないためであります。

2. 持分法の適用に関する事項

- (1) 持分法適用会社の数および会社名

三和電機株式会社(関連会社)以上1社

- (2) 持分法非適用会社について持分法を適用しない理由

持分法を適用していない非連結子会社および関連会社7社(松本電子工業株式会社他6社)は、当期純損益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)などからみて持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

- (3) 持分法適用会社の事業年度に関する事項

三和電機株式会社の決算日は12月31日であるため、その決算財務諸表を使用しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち7社の決算日は連結決算日と異なっております。

エフピーキャップ エレクトロニクス(蘇州)カンパニー リミテッドおよびニチコン エレクトロニクス トレーディング(深圳)カンパニー リミテッドの決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては、連結決算日で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

エフピーキャップ エレクトロニクス(蘇州)カンパニー リミテッドおよびニチコン エレクトロニクス トレーディング(深圳)カンパニー リミテッドを除く中国子会社5社の決算日は12月31日であり、連結財務諸表の作成にあたっては、それぞれの連結子会社の決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

- (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)

その他有価証券

(イ) 時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定)

(ロ) 時価のないもの

主として移動平均法による原価法

②デリバティブ

時価法

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

③たな卸資産

(イ) 商品及び製品・仕掛品：主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(ロ) 原材料及び貯蔵品：主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

主として、定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（付属設備を除く）については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|--------|
| 建物及び構築物 | 7年～50年 |
| 機械装置及び運搬具 | 4年～11年 |

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づいております。

③長期前払費用

均等額を償却する方法によっております。

④リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対する賞与の支払に備えるため、主として支給見込額のうち当連結会計年度負担分を計上しております。

③役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

④退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

なお、数理計算上の差異は、当連結会計年度において一括費用処理しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外連結子会社等の資産および負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定および少数株主持分に含めております。

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(5) 重要なヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

主として、繰延ヘッジ処理をしております。

なお、為替予約について振当処理の要件を満たしている場合は、振当処理を採用しております。

②ヘッジ手段とヘッジ対象

当連結会計年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は次のとおりであります。

ヘッジ手段：為替予約

ヘッジ対象：製品・原材料輸出による外貨建売上債権および外貨建予定取引

③ヘッジ方針

主として、当社内規に基づき為替変動リスクをヘッジしております。

④ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動による変動額等を基礎にして判断しております。

(6) のれんの償却方法および償却期間

のれんの償却については、5年間の定額法により償却を行っております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する定期預金からなります。

(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理の方法は、税抜方式によっております。

(7) 追加情報

当連結会計年度
(自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号) 平成21年12月4日)を適用しております。

(持分法適用会社における韓国採択国際会計基準の適用)

当連結会計年度より、持分法適用会社である三和電機株式会社(関連会社)の財務諸表については、韓国において平成23年1月1日以後開始する事業年度より韓国株式市場での公開企業に対して韓国採択国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した三和電機株式会社の財務数値を基礎として、連結決算上必要な修正を行うことにより連結財務諸表を作成しております。当該会計基準は遡及して適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の経常利益および税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度期首残高は240百万円増加しております。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---|---|
| ※1 非連結子会社および関連会社に対するものは次のとおりであります。 投資有価証券(株式) 3,274百万円 | ※1 非連結子会社および関連会社に対するものは次のとおりであります。 投資有価証券(株式) 2,906百万円 |
| ※2 有形固定資産減価償却累計額 144,793百万円 | ※2 有形固定資産減価償却累計額 148,931百万円 |
| ※3 取得価額から控除されている圧縮記帳額 建物及び構築物 1,182百万円、機械装置及び運搬具 2,811百万円、土地他 544百万円 | ※3 取得価額から控除されている圧縮記帳額 建物及び構築物 1,185百万円、機械装置及び運搬具 4,133百万円、土地他 595百万円 |

(連結損益計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|----------|-----|-------------|-------|-----------|-----|-------------|-----|----------|-----|----------|-------|--|--------|----------|----------|-----|-------------|-------|-----------|-----|-------------|-----|----------|-----|----------|-------|
| ※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。なお、当該金額は、戻入額と相殺した後の金額であります。 $\Delta 20$ 百万円 | ※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。なお、当該金額は、戻入額と相殺した後の金額であります。 92百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※2 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。 <table border="1"> <tr><td>1. 運送費</td><td>2,447百万円</td></tr> <tr><td>2. 広告宣伝費</td><td>164</td></tr> <tr><td>3. 給料手当及び賞与</td><td>3,467</td></tr> <tr><td>4. 退職給付費用</td><td>204</td></tr> <tr><td>5. 賞与引当金繰入額</td><td>207</td></tr> <tr><td>6. 減価償却費</td><td>223</td></tr> <tr><td>7. 研究開発費</td><td>1,391</td></tr> </table> | 1. 運送費 | 2,447百万円 | 2. 広告宣伝費 | 164 | 3. 給料手当及び賞与 | 3,467 | 4. 退職給付費用 | 204 | 5. 賞与引当金繰入額 | 207 | 6. 減価償却費 | 223 | 7. 研究開発費 | 1,391 | ※2 販売費及び一般管理費の内、主要なものは次のとおりであります。 <table border="1"> <tr><td>1. 運送費</td><td>2,020百万円</td></tr> <tr><td>2. 広告宣伝費</td><td>214</td></tr> <tr><td>3. 給料手当及び賞与</td><td>3,547</td></tr> <tr><td>4. 退職給付費用</td><td>231</td></tr> <tr><td>5. 賞与引当金繰入額</td><td>246</td></tr> <tr><td>6. 減価償却費</td><td>216</td></tr> <tr><td>7. 研究開発費</td><td>1,474</td></tr> </table> | 1. 運送費 | 2,020百万円 | 2. 広告宣伝費 | 214 | 3. 給料手当及び賞与 | 3,547 | 4. 退職給付費用 | 231 | 5. 賞与引当金繰入額 | 246 | 6. 減価償却費 | 216 | 7. 研究開発費 | 1,474 |
| 1. 運送費 | 2,447百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 164 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 給料手当及び賞与 | 3,467 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 退職給付費用 | 204 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 賞与引当金繰入額 | 207 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 減価償却費 | 223 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 研究開発費 | 1,391 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 運送費 | 2,020百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 広告宣伝費 | 214 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 給料手当及び賞与 | 3,547 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 退職給付費用 | 231 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 賞与引当金繰入額 | 246 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 減価償却費 | 216 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 研究開発費 | 1,474 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※3 販売費及び一般管理費ならびに当期総製造費用に含まれる研究開発費 3,166百万円 | ※3 販売費及び一般管理費ならびに当期総製造費用に含まれる研究開発費 3,478百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 当連結会計年度期首株式数 (千株) | 当連結会計年度増加株式数 (千株) | 当連結会計年度減少株式数 (千株) | 当連結会計年度末株式数 (千株) |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 78,000 | — | — | 78,000 |
| 合計 | 78,000 | — | — | 78,000 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 (注) | 6,557 | 1 | — | 6,558 |
| 合計 | 6,557 | 1 | — | 6,558 |

(注) 普通株式の自己株式数の増加株式数1千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

| 区分 | 新株予約権の内訳 | 新株予約権の目的となる株式の種類 | 新株予約権の目的となる株式の数 (株) | | | | 当連結会計年度末残高 (百万円) |
|------------|---------------------|------------------|---------------------|-----------|-----------|----------|------------------|
| | | | 当連結会計年度期首 | 当連結会計年度増加 | 当連結会計年度減少 | 当連結会計年度末 | |
| 提出会社 (親会社) | ストック・オプションとしての新株予約権 | — | — | — | — | — | 88 |
| | 合計 | — | — | — | — | — | 88 |

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配当 額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|------------|------------|
| 平成22年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 464 | 6.5 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月30日 |
| 平成22年11月5日 取締役会 | 普通株式 | 464 | 6.5 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月6日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|------------------|------------|------------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 535 | 利益剰余金 | 7.5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 |

(注) 1株当たり配当額の内、1円00銭は創立60周年記念配当金であります。

当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 当連結会計年度期 首株式数 (千株) | 当連結会計年度増 加株式数 (千株) | 当連結会計年度減 少株式数 (千株) | 当連結会計年度末 株式数 (千株) |
|----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 78,000 | — | — | 78,000 |
| 合計 | 78,000 | — | — | 78,000 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 (注) | 6,558 | 0 | — | 6,559 |
| 合計 | 6,558 | 0 | — | 6,559 |

(注) 普通株式の自己株式数の増加株式数0千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配当 額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|------------------|------------|------------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 535 | 7.5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月30日 |
| 平成23年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 535 | 7.5 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月5日 |

(注) 平成23年6月29日定時株主総会決議における1株当たり配当額の内、1円00銭は創立60周年記念配当金であります。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|------------------|------------|------------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 535 | 利益剰余金 | 7.5 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月29日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--|--|
| ※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月31日現在) (百万円) | ※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年3月31日現在) (百万円) |
| 現金及び預金 14,143 | 現金及び預金 17,214 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 — | 預入期間が3か月を超える定期預金 △410 |
| 現金及び現金同等物 14,143 | 現金及び現金同等物 16,804 |

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)および当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

当社グループは、「コンデンサおよびその関連製品」の製造ならびに販売を主な事業としており、各拠点に製品の販売もしくは製造、またはその両方の機能を置き、本社はグループ全体の戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社グループは、各拠点別を基礎とした事業セグメントから構成されており、経営意思決定および業績評価を行っておりますが、当該事業セグメントの経済的特徴、製品およびサービスの内容、製品の製造方法または製造過程やサービスの提供方法などの要素が概ね類似していることから、「コンデンサおよびその関連製品」の単一の報告セグメントとしており、記載を省略しております。

b. 関連情報

I 前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

(単位:百万円)

| | 電子機器用 | 電力・機器用 及び応用機器 | 回路製品 | その他 | 合計 |
|-----------|--------|------------------|--------|-----|---------|
| 外部顧客への売上高 | 78,122 | 10,772 | 16,347 | 671 | 105,914 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

| 日本 | 米国 | アジア | 欧州他 | 合計 |
|--------|-------|--------|-------|---------|
| 44,467 | 6,037 | 49,526 | 5,882 | 105,914 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

| 日本 | 米国 | アジア | 欧州他 | 合計 |
|--------|-----|-------|-----|--------|
| 24,987 | 331 | 9,332 | 26 | 34,677 |

3. 主要な顧客ごとの情報

当社グループは、連結損益計算書の売上高の10%以上である単一の外部顧客への売上高がないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1. 製品およびサービスごとの情報

(単位：百万円)

| | 電子機器用 | 電力・機器用 及び応用機器 | 回路製品 | その他 | 合 計 |
|-----------|--------|------------------|--------|-----|---------|
| 外部顧客への売上高 | 76,972 | 12,001 | 18,197 | 486 | 107,658 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | 米国 | アジア | 欧州他 | 合 計 |
|--------|-------|--------|-------|---------|
| 49,595 | 6,223 | 45,116 | 6,723 | 107,658 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

| 日本 | 米国 | アジア | 欧州他 | 合 計 |
|--------|-----|--------|-----|--------|
| 29,424 | 322 | 10,988 | 33 | 40,768 |

3. 主要な顧客ごとの情報

当社グループは、連結損益計算書の売上高の10%以上である単一の外部顧客への売上高がないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | |
|--|-----------|---|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,301.49円 | 1株当たり純資産額 | 1,299.69円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 37.24円 | 1株当たり当期純利益金額 | 16.20円 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | |

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 当期純利益 (百万円) | 2,660 | 1,157 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益 (百万円) | 2,660 | 1,157 |
| 期中平均株式数 (千株) | 71,442 | 71,440 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当事業年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,135 | 6,031 |
| 受取手形 | 4,276 | 3,943 |
| 売掛金 | 22,938 | 21,667 |
| 有価証券 | 3,508 | 4,111 |
| 商品及び製品 | 1,154 | 1,183 |
| 仕掛品 | 2,037 | 2,752 |
| 原材料及び貯蔵品 | 846 | 896 |
| その他 | 1,576 | 1,887 |
| 貸倒引当金 | △31 | △33 |
| 流動資産合計 | 41,442 | 42,441 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 7,862 | 9,817 |
| 構築物（純額） | 695 | 752 |
| 機械及び装置（純額） | 4,053 | 5,077 |
| 車両運搬具（純額） | 32 | 89 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 184 | 300 |
| 土地 | 3,265 | 3,276 |
| リース資産（純額） | — | 1,735 |
| 建設仮勘定 | 165 | 1,109 |
| 有形固定資産合計 | 16,259 | 22,158 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 91 | 167 |
| その他 | 50 | 50 |
| 無形固定資産合計 | 142 | 217 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 23,203 | 19,837 |
| 関係会社株式 | 17,921 | 22,714 |
| 長期貸付金 | 12,621 | 11,261 |
| その他 | 784 | 519 |
| 貸倒引当金 | △4,030 | △3,730 |
| 投資その他の資産合計 | 50,500 | 50,603 |
| 固定資産合計 | 66,902 | 72,979 |
| 資産合計 | 108,344 | 115,421 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当事業年度 (平成24年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 611 | 620 |
| 買掛金 | 20,427 | 18,108 |
| 短期借入金 | 3,800 | 5,500 |
| 未払金 | 1,495 | 2,043 |
| 未払費用 | 3,296 | 3,255 |
| 未払法人税等 | 69 | 58 |
| 賞与引当金 | 356 | 447 |
| 設備関係支払手形 | 245 | 1,405 |
| その他 | 91 | 77 |
| 流動負債合計 | 30,393 | 31,516 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 4,000 |
| リース債務 | 1 | 1,741 |
| 繰延税金負債 | 1,275 | 1,088 |
| 退職給付引当金 | 2,458 | 2,236 |
| その他 | 661 | 780 |
| 固定負債合計 | 4,397 | 9,847 |
| 負債合計 | 34,791 | 41,363 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,286 | 14,286 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 17,065 | 17,065 |
| その他資本剰余金 | 4 | 4 |
| 資本剰余金合計 | 17,069 | 17,069 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 2,141 | 2,141 |
| その他利益剰余金 | | |
| 固定資産圧縮積立金 | 51 | 55 |
| 別途積立金 | 46,517 | 45,517 |
| 繰越利益剰余金 | △315 | 1,181 |
| 利益剰余金合計 | 48,394 | 48,895 |
| 自己株式 | △8,116 | △8,116 |
| 株主資本合計 | 71,633 | 72,134 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,831 | 1,923 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,831 | 1,923 |
| 新株予約権 | 88 | — |
| 純資産合計 | 73,553 | 74,057 |
| 負債純資産合計 | 108,344 | 115,421 |

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 76,313 | 76,781 |
| 売上原価 | | |
| 製品期首たな卸高 | 1,189 | 1,154 |
| 当期製品製造原価 | 70,562 | 72,827 |
| 合計 | 71,751 | 73,981 |
| 製品期末たな卸高 | 1,154 | 1,183 |
| 貸与資産原価 | 502 | 467 |
| 製品売上原価 | 71,099 | 73,265 |
| 売上総利益 | 5,213 | 3,515 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,666 | 5,866 |
| 営業損失(△) | △452 | △2,350 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 354 | 348 |
| 受取配当金 | 1,086 | 2,600 |
| 為替差益 | — | 134 |
| 技術指導料 | 834 | 786 |
| その他 | 253 | 1,076 |
| 営業外収益合計 | 2,529 | 4,946 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 38 | 54 |
| 為替差損 | 1,665 | — |
| その他 | 135 | 327 |
| 営業外費用合計 | 1,839 | 382 |
| 経常利益 | 237 | 2,213 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 19 |
| 新株予約権戻入益 | 8 | 88 |
| その他 | 12 | 0 |
| 特別利益合計 | 21 | 108 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 29 | 62 |
| 投資有価証券評価損 | — | 423 |
| 特別損失合計 | 29 | 485 |
| 税引前当期純利益 | 229 | 1,836 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 166 | 268 |
| 法人税等調整額 | △0 | △4 |
| 法人税等合計 | 165 | 263 |
| 当期純利益 | 63 | 1,572 |

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前事業年度 | | 当事業年度 | |
|------------------|-------|-------------|-------|-------------|
| | (自 | 平成22年4月1日 | (自 | 平成23年4月1日 |
| | 至 | 平成23年3月31日) | 至 | 平成24年3月31日) |
| 株主資本 | | | | |
| 資本金 | | | | |
| 当期首残高 | | 14,286 | | 14,286 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 14,286 | | 14,286 |
| 資本剰余金 | | | | |
| 資本準備金 | | | | |
| 当期首残高 | | 17,065 | | 17,065 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 17,065 | | 17,065 |
| その他資本剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | | 4 | | 4 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 4 | | 4 |
| 資本剰余金合計 | | | | |
| 当期首残高 | | 17,069 | | 17,069 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 17,069 | | 17,069 |
| 利益剰余金 | | | | |
| 利益準備金 | | | | |
| 当期首残高 | | 2,141 | | 2,141 |
| 当期変動額 | | | | |
| 当期変動額合計 | | — | | — |
| 当期末残高 | | 2,141 | | 2,141 |
| その他利益剰余金 | | | | |
| 固定資産圧縮積立金 | | | | |
| 当期首残高 | | 51 | | 51 |
| 当期変動額 | | | | |
| 固定資産圧縮積立金の積立 | | — | | 4 |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | △0 | | △0 |
| 当期変動額合計 | | △0 | | 3 |
| 当期末残高 | | 51 | | 55 |
| 別途積立金 | | | | |
| 当期首残高 | | 52,917 | | 46,517 |
| 当期変動額 | | | | |
| 別途積立金の取崩 | | △6,400 | | △1,000 |
| 当期変動額合計 | | △6,400 | | △1,000 |
| 当期末残高 | | 46,517 | | 45,517 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | △5,850 | △315 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △928 | △1,071 |
| 固定資産圧縮積立金の積立 | — | △4 |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | 0 | 0 |
| 別途積立金の取崩 | 6,400 | 1,000 |
| 当期純利益 | 63 | 1,572 |
| 当期変動額合計 | 5,535 | 1,497 |
| 当期末残高 | △315 | 1,181 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 49,259 | 48,394 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △928 | △1,071 |
| 固定資産圧縮積立金の積立 | — | — |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | — | — |
| 当期純利益 | 63 | 1,572 |
| 当期変動額合計 | △865 | 500 |
| 当期末残高 | 48,394 | 48,895 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △8,114 | △8,116 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 当期変動額合計 | △1 | △0 |
| 当期末残高 | △8,116 | △8,116 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 72,500 | 71,633 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △928 | △1,071 |
| 当期純利益 | 63 | 1,572 |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 当期変動額合計 | △867 | 500 |
| 当期末残高 | 71,633 | 72,134 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 2,968 | 1,831 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,137 | 92 |
| 当期変動額合計 | △1,137 | 92 |
| 当期末残高 | 1,831 | 1,923 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 当期首残高 | 2,968 | 1,831 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,137 | 92 |
| 当期変動額合計 | △1,137 | 92 |
| 当期末残高 | 1,831 | 1,923 |
| 新株予約権 | | |
| 当期首残高 | 97 | 88 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △8 | △88 |
| 当期変動額合計 | △8 | △88 |
| 当期末残高 | 88 | — |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 75,567 | 73,553 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △928 | △1,071 |
| 当期純利益 | 63 | 1,572 |
| 自己株式の取得 | △1 | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,146 | 3 |
| 当期変動額合計 | △2,013 | 503 |
| 当期末残高 | 73,553 | 74,057 |

6. その他

その他の役員の異動（平成24年6月28日予定）

1. 新任取締役候補

取締役（社外） 松重 和美（現：京都大学名誉教授、龍谷大学特別任用教授）

2. 新任監査役候補

監査役（社外） 森瀬 正博（現：株式会社京都銀行 専務取締役）

3. 退任予定監査役

監査役（社外） 熊田 泰彦（当社顧問に就任予定）

以 上